

災害レジリエンスへの企業の挑戦

～民間企業が異常気象にどう取り組むか

気候変動に伴う「異常」気象の常態化や頻発・激甚化する台風など気象関連ハザードにより、日本では集中豪雨、猛暑、渇水、暖冬、豪雪などが発生し、洪水、高潮、強風、暑熱の気象関連災害が増加しています。気候変動に関係の無い地震などでも、気象関連災害と複合すると被害が大きくなることが予想され、日本政府も様々な対策を採っていますが民間企業の役割も重要となります。このシンポジウムでは、日本政府の災害対策や適応策に関する最新動向を共有し、同分野に積極的に取り組むARISEネットワーク・ジャパン会員の事例発表を通じて、2017年2月の国連総会において7つのグローバルターゲットの進捗指標が新たに採択された「仙台防災枠組2015-2030」のもと、民間セクターが様々な主体と連携・協働し、どのように災害レジリエンスの更なる向上に貢献できるのかを探ります。

3月10日 金 14:30～18:30
(受付開始 14:00)
東京都港区西新橋 1-6-15 NS 虎ノ門ビル 11 階 (SMBC 日興証券のあるビル)
コンベンションルーム AP 新橋虎ノ門

主催：UNISDR ARISE ネットワーク・ジャパン
共催：国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) 駐日事務所



事前
登録制
無料

参加申し込み：オンラインにて受付 bit.ly/arisenj17
定員150名

お問い合わせ：arise_japan_focalpt@kk-grp.jp
ARISE ネットワーク・ジャパン事務局(国際航空(株)内)

個人情報の取り扱いについて：取得した個人情報は当シンポジウムのために使用し、各種ご案内などに利用することがあります。個人情報保護方針および個人情報取り扱いの詳細はこちらの URL をご確認ください。 <http://www.kkc.co.jp/policy/privacy.html>

後援：グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
レジリエンスジャパン推進協議会
日本防災プラットフォーム

14:30	主催者挨拶	ARISE理事(日本及びアジア担当) 国際航空(株) 代表取締役会長	呉 文 績
14:35	共催者挨拶	国連国際防災戦略事務局(UNISDR) 駐日代表	松岡 由季
14:50	政府の	内閣府政策統括官(防災担当)付企画官(調査・企画担当)	森本 輝
15:10	最新動向	環境省 地球環境局気候変動適応室 室長	竹本 明生
15:30		国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課	中 込 淳
15:50	休 憩		
16:05	ARISE 座 長 会員企業の 取組発表 ※各社発表15分	(株)インターリスク総研 特別研究員 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当) (一財)日本地域開発センター総括研究理事	本田 茂樹 佐谷 説子 西川 智
	自立分散型給水システム「地下水膜ろ過システム」による 国内外の持続可能なまちづくりへの貢献	(株)ウェルシィ 常勤顧問	渡辺 愛彦
	気候変動適応に向けた新事業戦略の取り組み	国際航空(株) 営業本部 営業企画部	坂本 大
	気象災害に対する避難シミュレーションの役割	(株)構造計画研究所 公共企画マーケティング部長	佐藤 壮
	将来の気候変動による地球温暖化時の荒川流域における洪水リスク	(株)東京海上研究所 主任研究員	永野 隆士
	災害に強いコミュニティづくりのためのツール開発	国土防災技術(株) 技術本部 技術部	中村 清美
	災害に強い観光先進国をめざして一地域・観光事業者の取り組みー 組織におけるリスク情報の活用についての調査/研究	(株)JTB総合研究所 常務取締役 PwCあらた監査法人リスクアシュアランスSPAパートナー	高松 正人 宮村 和谷
18:20	総括と 閉会挨拶	ARISE理事/国際航空(株)代表取締役会長 ARISE理事/(株)JTB総合研究所 常務取締役	呉 文 績 高松 正人
18:30	懇 親 会	※お茶と軽食の簡単な懇親会です。19:30 終了予定 (無料)	

※プログラムは当日、内容の変更がある場合がございます。